

いのち 「生命のがん教育」のご案内

～令和8年度実施校を募集します～
(実施校は累計約945校です！)



医師等が易しく丁寧に解説し、
経験者が生命の大切さを語り、
ともに考えます。

京都府独自の副読本を受講者全員
にお渡ししています。

いま、なぜ「がん教育」なのでしょう

日本人の2人に1人が一生のうちのがんになるといわれており、死亡原因の第1位もがんです。がんは私たちにとって大変身近な病気です。

しかし、多くのがんは、生活習慣を改善することで予防できます。近年はウイルスや細菌の感染が原因とされるがんがあることも分かり、適切な予防と治療でがんの罹患を防ぐことができます。

また、医療の進歩により、がんになっても、早くみつけて適切な治療をすることで、普段の生活に戻れるようにもなりました。

がんのことを正しく学び、自分に何ができるかを考えて、がんという病気と向き合うことが大切です。

いのち 「生命のがん教育」の主な内容

教育における視点（小児がんは取り扱いません。）

- がんに関する正しい知識の定着・普及
- 児童生徒を中心に家族で取り組むがん予防の実現
- 健康的な生活習慣の習得
- 早期発見・早期治療の重要性の認識
- 周囲の支えなどの必要性の認識
- 自他の健康と命の大切さの理解

教育のねらい

がんの発生メカニズムを学習する事によって、がんは誰でもなる可能性があることを理解し、正しく向き合う意志を育む。

がんは、たばこやお酒、食事や運動など日常の生活習慣と関わりが深いことを知り、家族と共になんがん予防に努める態度を育む。

がんは100%予防することは不可能であることから、症状が出る前に発見し治療する「がん検診」の意義を理解し、実行力を育む。

がん経験者の体験談から自他の健康と命の大切さに気づき、共に生きる社会づくりを目指す態度を育む。

教育の効果

- 医師が白衣を着用し、分かりやすいスライドを用いて専門用語を使わず易しく丁寧に講義をするので理解しやすいと評価されている。
- たばこが何にもまして発がん率を高めることを理解することにより、禁煙の重要性と受動喫煙の危険性に対する認識が深まると評価されている。
- がん経験者の具体的な体験談により、家族や友人等の大切な人たちの存在を再認識し、感謝や思いやりの気持ちを高めることが出来ると評価されている。
- 保護者が参観した学校では、学習内容が家庭でも話題となり、家族で内容を深めることができたという評価されている。

授業の流れと主な内容（例：50分授業）

※授業時間の長短や保護者参観としての実施など、調整は可能です。

| 担当者 | 時間 | 主な内容 |
|---|-------|--|
| 授業担当者 | 短時間 | 動機づけと紹介 |
| 医療従事者の講義  | 25分程度 | 【がんについての講義】 ◎がんに関する基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ・がんのできるメカニズム ・がんは死亡原因の第1位 ・遺伝や感染 ◎がんの予防について <ul style="list-style-type: none"> ・がんになりにくい生活習慣 ・喫煙・受動喫煙とがんの関係 ◎がん検診について <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見、早期治療の重要性 |
| 授業担当者 | 短時間 | つなぎ |
| がん経験者の体験談  | 20分程度 | 【がん闘病の体験談】 ◎がんの発病(発見)について ◎治療について ◎周囲とのかかわり ◎伝えたいメッセージ |
| 授業担当者 | 短時間 | 質疑応答（質問はこの機会のみ） |

○がん経験者の闘病体験談（授業の中での紹介例）

私は20年程前から乳房に異変があり、その経過観察のために毎年、エコー検査とマンモグラフィー検査を受けていました。そこで気になる所見がみつき、更に詳しい検査をすると、左乳房にがんがあることが分かりました。

しばらくの間、乳房温存か全摘か悩んだ末に、左乳房全摘手術を受けることに決めました。術後しばらくは痛みで左腕をうまく動かせませんでした。毎日コツコツとリハビリを継続することにより、少しずつ元の動きができるようになりました。

入院中はたくさんの方がお見舞いに来てくれ、私を励まし、元気づけてくれました。また、LINEや電話で、一人暮らしの私をいつも気にかけてくれました。

退院後から服薬と注射の治療を5年間継続し、副作用とも工夫をして上手に付き合いました。そして、現在は経過観察となり、1年に1回、通院しています。

がんと告知されてから治療方針が決まるまでの間、日々前向きに、楽しい気持ちで過ごそうと思っても、恐怖心は常に私についてまわりました。その中でどうしようもなくなったときに、私を励まし、元気づけ、手を差し伸べ、助けてくれたのが、私の人生に関わってくれている全ての人達です。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。がんになってもひとりぼっちではありません。これらのことを皆さんにお伝えしていきたいです。

○授業実施後の児童・生徒の感想

【小学校】

- ・今日の授業で実際がんと体験した方のお話を聞いて、がんは怖いものだけど友達など周りの人に支えられて、前向きに過ごすことができたことと仰っていたので、私の身の周りの人がもしもがんになってしまったとしたら、支えてあげたいです。

【中学校】

- ・たばこは吸ったらタールといった発がん物質を多く含んでいるので、たばこは大人になっても絶対に吸わないようにする。特に副流煙は危ないから気を付けたいと思った。

【高等学校】

- ・私は母の勧めで子宮頸がんのワクチンを何も考えずに打っているのですが、今回の講義で打っていてよかったと思いました。私は今のうちから生活習慣を改め、がん検診を定期的に行われるようになったら、必ず検診に行こうと思いました。家族にも定期的ながん検診に行くように勧めたいです。

【支援学校】

- ・がんは2人に1人になることが分かりました。がん検診を受けられる年齢になったら受けようと思いました。今後は毎日食事をしっかりとって、運動もしっかりしようと思いました。

○授業実施後の教職員の感想

【小学校】

- ・子どもたちは、がんについての理解を深めるとともに、周りの人を大切にしたいという思いを強くもつことができました。今回の学習を道徳や保健につなげて、生命を大切にすることを深めていこうと思いました。

【中学校】

- ・がんの発生のメカニズムを学習することによって、がんは誰でもなる可能性があることを理解することができた。そして健康的な生活を心がけることの大切さを実感できた。また、がん経験者の体験談から、早期に発見することによって適切な治療を受けることができることが分かり、がんは死に直結するようなイメージを変えることができたと感じた。そして闘病中に支えになった周囲の方への感謝の気持ちを聞き、人との関わり方を考える機会となった。

【高等学校】

- ・生徒の感想文から、多くの生徒がこの授業を受講して、がん予防に関して生活習慣を見直すことが大切だと述べている。他人事ではなく、自分事として捉えるようになった事に大きな意義があったように思う。また、経験者のお話を聞いて早期発見、早期治療の必要性や心のサポートの大切さを感じ取った生徒もいた。

【支援学校】

- ・総合支援学校ということもあり、単語や内容を少しかみ砕いて説明していただけたおかげで、生徒達も自分事としてとらえることができていると思います。また実体験に伴う話をしていただけたことで、身近なできごとになりえることと感じながら学ぶことができました。生徒から質問もでしたが、丁寧に答えていただけたおかげで、続けて質問ができる柔らかい雰囲気での学習することができ、大変ありがたい時間となりました。

生命のがん教育実施校募集！

授業の実施を希望される学校は、下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：京都府健康対策課 075-414-4973

より詳しい情報は[京都府のホームページ（生命のがん教育）](#)をご覧ください。